

知

っとQ?

江戸時代に大阪から和歌山まで街道が整備され、人々の生活はどのように変わったでしょうか。

● 学び方 確かめよう！

街道の近くには、どんなお店があったのでしょうか。



地図帳を開いてみましょう。

● 学び方 考え合おう！

街道が整備されたことで、人々のくらしはどのように変わったでしょうか。



海道と街道（海と陸の道）

街道が整備されていなかった頃は、荷物は船に積んで海や川を利用して運んでいました。川を船でさかのぼるには牛や人の力を使って船を引っばっていました。川を船が通れない場所では、コロボを使って船ごと陸上を運んでいたそうです。

● 学び方 深めよう！

「はたご」とは、どんな仕事でしょうか。



大阪と和歌山を結ぶ 参勤交代の道「紀州街道」

紀州街道は、海岸線に沿った街道で、現在の府道堺阪南線（旧国道26号線）に沿う形で、生活道路として使われていました。江戸時代には、参勤交代の経路としても使われました。

この道に沿って「はたご」が建ち並び、つげぐし作りに関わる人たちも多く住んでいました。



また、脇浜一丁目交差点付近は「国見ヶ丘」と呼ばれ、昔は、「淡路の国」や「播磨の国」など、大阪湾に沿った国々が一望できる見晴らしのいい場所でした。参勤交代のときもここで休憩し、景色を楽しんだことでしょう。

● 学び方 ひろげてみよう！ ●



江戸末期に日本を旅した外国人の手記からは、たくさんの人が街道を通り、旅をしている様子うかがえます。浮世絵に描かれている旅人はどんな人たちなのでしょう。

〈貝塚の紀州街道の様子〉

貝塚市の中では、府道堺阪南線(旧国道26号線)の「北町」や、「貝塚駅下り」交差点付近で、かぎ型に道が曲げてありました。これは、願泉寺を中心とした寺内町に攻め込むことを難しくするための工夫です。📍



- ① 津田川にかかる
岸見橋から見る津田南町
- ② 寺内町
南町郵便局付近の旧街道
- ③ 脇浜町会館前
粉川街道との分岐
- ④ 近木川を越えて
澤に入る曲がり道

貝塚市内の、今の紀州街道を歩いてみましょう。
歩いて地図のポイントを探してみましょう。





知っとQ?

望遠鏡を作った岩橋善兵衛。
新しい時代の動きにどのような役割を果たしたでしょう。

● 学び方 確かめよう! ●

江戸時代のメガネ屋さん
はどんな仕事をして
いたのでしょうか。



教科書で年表を見てみましょう。



人々を驚かせた技術

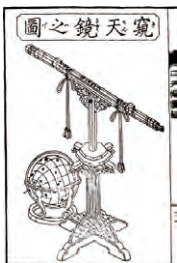
善兵衛は京都に住む学者のところに望遠鏡を持って行き、たくさんの人を集め、天体観測会を行いました。善兵衛の作った望遠鏡で月を見た人は、おどろきの声をあげました。クレーターがはっきり見えたからです。

● 学び方 考え合おう! ●

天体観測会って……
どんな人が集まるので
しょうか。



みんなの考えを模造紙にまとめよう。



善兵衛が
初めて作った
望遠鏡の図

江戸時代に望遠鏡!?

すごいぞ! 岩橋善兵衛!

(1756年～1811年)



岩橋善兵衛は今から260年
くらい前、^{わきはましんまち}協浜新町に生まれ
ました。江戸時代の協浜新町は海に近
かったため、善兵衛の家は魚屋を^{いとな}営んで
いました。善兵衛は長男ではなかったの
で、家は^つ継がず、^{どくりつ}独立してめがねのレン
ズをみがく仕事をしていました。

善兵衛は子どもの頃から自然科学への
関心が高く、特に^{う ちゅう}宇宙への関心は^{ひと な}人並み
はずれていました。太陽の動きを観察し
て日時計を作成したり、夜はあきること
なく月や星をながめていました。そのた
め、いつしか協浜新町は「空町」と呼ば
れるようになったそうです。

善兵衛は、^{ぎ じゆつ}レンズみがきの技術を生か
して望遠鏡を作ろうと考えました。その
頃、望遠鏡はほとんどが外国から^{ゆ にゆう}輸入さ
れたもので、とても高価でした。善兵衛
はいろいろな人を^{たず}訪ね、望遠鏡について
教えてもらいながら研究を積み重ね、つ
いに1793年、38歳のときに望遠鏡を完成
させ、「^{き てんきよう}窺天鏡」と名付けました。

善兵衛はその後も改良を重ねて望遠鏡を作り続けました。善兵衛の望遠鏡のことを聞いた大名や



↑ 善兵衛作の望遠鏡



↑ 平天儀

大商人、科学者から、望遠鏡の注文がどんどんとくるようになりました。善兵衛は望遠鏡の職人となり、大きいものや折りたたみ式のものなど、いろいろなタイプの望遠鏡を自在に作ったのでした。

もちろん、善兵衛は望遠鏡作りだけでなく、天体の観測も熱心に行いました。その観測をもとに平天儀（今の星座早見板によく似たもの）を作ったり、その解説書の平天儀図解を出版しました。平天儀は星の動きだけでなく、月の満ち欠けや大阪湾の潮の満ち干もわかる優れたものでしたし、平天儀図解は天文学の入門書として多くの人に読まれました。その中には善兵衛が観測した太陽や月、惑星のスケッチも描かれています。

このように岩橋善兵衛は日本の天文学の発展に大きく貢献しました。そのことを知るアマチュア天文家が、1996年に自ら発見した小惑星に「善兵衛（7538Zenbei）」の名前を付けています。

江戸まで届いた評判

善兵衛の作った望遠鏡は江戸幕府の天文方（暦をつかさどる仕事）にも使われました。また、日本地図を作成したことで有名な伊能忠敬も、善兵衛の望遠鏡を地図の測量に用いました。

● 学び方 深めよう！ ●



なぜ望遠鏡を欲しがったのでしょうか。
地図の測量に、どのように使われるのでしょうか。



教科書を調べてみましょう。

● 学び方 ひろげてみよう！ ●



月の満ち欠けや、潮の干満がわかると、くらしの中で何に役立つのでしょうか。



作った資料をもとに発表してみましょう。

善兵衛ランドには、昼間でも星が見られる大きな望遠鏡があります。

行っとQ!

知

っとQ?

地名には歴史や地形などのさまざまな由来があります。「貝塚」にはどんな由来があるのでしょうか。

● 学び方 確かめよう! ●

地図で「海塚」の場所を調べてみましょう。



地図帳で探してみましょう。



願泉寺（p14-15）を開いてみましょう。

● 学び方 考え合おう! ●

遺跡の「貝塚」は、貝塚市では確認されていませんが、近畿地方や大阪府にはあるのでしょうか。



地図帳で探してみましょう。



白地図に「貝塚」の印をつけてみましょう。

● 学び方 深めよう! ●

行基と清児の伝説を読んでみましょう。



教科書や資料集で行基のしたことを調べてみましょう。

なぜ? どうして? 「貝塚」地名の由来

貝塚市は1943年に「^{せんなんぐん}泉南郡貝塚町」から「貝塚市」となりました。

「貝塚」という地名は、もともとは「海塚」という漢字を書いて「かいづか」と読んでいました。^{むろまち}室町時代の終わり頃、^{ごろ}北小学校の近くにある^{がんせんじ}願泉寺を中心とした^{じないちやう}寺内町が作られた頃には「貝塚」という漢字が使われていて、それが今の「貝塚市」という地名のもとになりました。

^{じやうもん}縄文時代の人たちが、貝がらや魚の骨^{ほね}、こわれた土器や石器などを捨てていた場所を「貝塚」と呼びますが、貝塚市内では、この貝塚遺跡^{いせき}は発見されていません。地名としての「貝塚」と貝塚遺跡との関わりはないと考えられます。

貝塚市内の住所として使われている地名の中からいくつかの由来を紹介します。ほかにも地名の意味を調べてみましょう。
^{せちご}清児……^{なら}奈良時代、^{ぎやうき}行基を^{みずま}水間の里まで案内した16人の子どもが現れた場所で、清らかな心を持った子という意味。



📍南校区の正福寺

ば ば 馬場……水間寺にきた人たちの馬をつないでおく場所があった。

わきはま 脇浜……寺内町が作られた後、その場所の脇の浜ということで名前がつけられた。

きたちやう 北町……願泉寺から見て、北の方向にあった。

じ ぞうどう 地藏堂…南校区にある正福寺がもともと近義地藏堂と呼ばれていた。

み つまつ 三ッ松…鎌倉時代の終わり頃、松をシンボルにする3つの村が1つの村になった。

に しき 二色……白い砂浜と青い松林の2つの色。
※諸説があります。



📍清児の「ちご塚」



● 学び方 ひろげてみよう！ ●

自分の住んでいる地域の地名には、どんな由来があるのでしょうか。



図書館で調べたり地域の人にインタビューしたりしてみましょう。



調べた地名の由来を模造紙にまとめて発表しましょう。

地図を持って出かけてみると面白い地名に出会えるかもしれません。

行つとQ!

知

っとQ?

お盆は先祖をまつり、地域の
人々がつながり合う大切な行
事が多く、地域により特徴があ
ります。

● 学び方 確かめよう! ●

みんなの小学校区には
どんな盆行事があるで
しょう。行事のお世話を
してくださっているのは
誰でしょうか。



↑ 貝塚東盆踊り



↑ 三夜音頭

● 学び方 深めよう! ●

盆行事はどのようにし
て受け継がれてきたの
でしょうか。



貝塚 夏の風物詩 —盆行事—

8月には、貝塚市内各地でさまざまな
盆行事が行われています。

東盆踊りは、江戸時代中期に始まった
報恩講（浄土真宗の法要）が始まりと伝
えられる盆踊りで、毎年8月14日～16日
の3日間、踊られています。伴奏には尺
八・三味線・大正琴などが用いられ、太
鼓などの打楽器を使わない珍しい形の
盆踊りです。踊り手は、ゆかた姿のほか、
さまざまな仮装をして踊ります。地域の
人たちが、大切に受け継いできた東盆踊
りは、大阪府無形民俗文化財に指定され
ています。

感田神社境内で行われている三夜音
頭は、1583年に本願寺が貝塚に移された
ことを祝い、人々が三日三晩踊り明かし
たことが始まりと伝えられています。
ゆったりとした音頭や、踊りながら打つ
太鼓が特徴的で、貝塚市無形民俗文化財
に指定されています。現在も地域の人た
ちが受け継ぎ、毎年8月14日、15日に行
われています。

三ツ松で行われている三ツ
松^{みよう}明^と土^{いき}行^{ねん}念^{ぶつ}仏、通称「チャン
チャンヒキ」は、先祖^{せんぞ}の霊^{れい}を
なぐさめるために行われている
盆行事で、貝塚市無形民俗
文化財に指定されています。



① 三ツ松チャンチャンヒキ

もともとは毎年8月7日～14
日の間に行われていましたが、現在は8
月14日に行われています。

数え年^{さい}18歳になる男子が夕暮れどきに
鐘^{かね}や太鼓を打ち鳴らしながら町内をまわ
ります。途中、数か所で立ち止まって念
仏を唱え、となり町の水間共同墓地^{ぼち}まで
を往復^{おうふく}します。「チャンチャンヒキ」とい
う呼び方は、太鼓や鐘の音からきている
と言われていますが、いつ頃から始めら
れたかは、わかっていません。1961年以
降は途絶えていましたが、1987年に地域
の経験者^{けいけんしゃ}が中心となって保存会^{ほぞんかい}が作られ、
今では町会全体で保存し、受け継がれて
います。

市内各地に残る盆行事は、亡^なくなった
先祖をまつるとともに、地域の人々がつ
ながり合う大切な行事として、今も受け
継がれています。

● 学び方 深めよう! ●



盆行事をこれからも受
け継いでいくためには、
どうすればいいでしょ
うか。



無形民俗文化財とは?

人々が日常生活の中で生み出し、受け
継いできた慣習^{かんしゅう}、芸能^{げいのう}、技術^{ぎじゆつ}など無形
の民俗文化財。

● 学び方 ひろげてみよう! ●



みんなの町の盆行事
を、新聞などにまとめて
発信しましょう。



調べたことを発表しましょう。

お盆の行事に参加してみると
家族や地域の人々の思いや願
いが見えてきます。

行 っとQ!

知

っとQ?

長い伝統を誇る太鼓台祭りや
だんじり祭りには、受け継いで
きた人々のいろいろな願いが
こめられています。

でんとう 伝統を受け継ぐ まつ 貝塚の祭り

たいこ 太鼓台祭りは、かんだ 感田神社の夏祭りとし
て江戸時代から盛大に行われてきました。

1741年に^{かつ}担がれたという記録
があり、これは、^{おおさか}大阪南部の
夏祭りの中では、最も古い記
録です。

げんざい 現在は、7月の「海の日」
直前の土・日曜日に行われ、^{おお}大
^{きた}北町、^{なかきた}中北町、^{ほりの}堀之町、^{こぎ}近木
町、中町、西町、南町の7町

の太鼓台が担ぎ出されます。

「石山の秋の月……ベーラ ベーラ ベ
ラ ショ ッ ショ……」の担ぎ歌に合わせて
見せる、力の入った担ぎ^{くら}比べが、太鼓台
祭りの見どころになっています。また、夜
には太鼓台がちょうちんでかざられ、昼
間とはちがった華やかさがあります。

太鼓台祭りには、「悪い病気が流行しな
いように」「台風などの自然災害^{さいがいは}が起こら
ないように」、また「海の祭りとして大漁^{きがん}
祈願する」など、人々の願いがこめられ
ていると言われています。



↑ 太鼓台祭り

● 学び方 確かめよう! ●

みんなの小学校区には、
どんな祭りがあるでしょ
う。
祭りには、どんな^{やくわり}役割
があるのでしょうか。



地域の人に聞いてみましょう。

● 学び方 考え合おう! ●

なぜ今まで受け継がれ
てきたのでしょうか。
どんな願いがこめられ
ているのでしょうか、どん
な工夫がこらされてい
るのでしょうか。



わかったことをまとめましょう。

だんじり祭りは、秋の収穫^{しゅうかく}を祝う祭りとして、貝塚市内各地で行われています。だんじりはケヤキの木で作られ、重さは約4トンあります。だんじりがまちかどで勢いよく方向を変える「やりまわし」は、祭りの見どころになっています。

江戸時代、岸和田城下^{じょう}で始まっただんじり祭りは、少しずつ貝塚の村々にも広まりました。最初は小さな荷車^{つな}に綱をつけたものだったのが、だんだん大きくなり、細かい彫刻^{ちようこく}がほどこされた現在のだんじりになりました。

くわしいことは明らかになっていませんが、古くは村ごとや地域^{ちいき}ごとに別々の祭りとして行われていました。1952年に祭りの日が統一^{とういつ}され、現在では体育の日直前の土・日曜日になっています。

太鼓台祭りも、だんじり祭りも、伝統を守りながら、時代に合わせて少しずつ形を変えて引き継がれてきました。そしてどちらも今ではたくさんの観光客でにぎわう、貝塚市を代表する祭りに発展^{はってん}しました。

● 学び方 深めよう！ ●



お祭りをこれからも受け継いでいくためにはどうすればいいでしょうか。自分自身にできることを考えてみましょう。



↑だんじり祭り

● 学び方 ひろげてみよう！ ●



みんなの町のお祭りを紹介^{しょうかい}しましょう。観光客が増えるようなパンフレットを作ってみましょう。



いつから行われているのでしょうか。



大切にしていることは何でしょう。

祭りに参加しよう。祭りのお世話をしてくださる大人の方と話してみよう。

行っとQ!

知

っとQ?

貝塚には全国最大規模の常設家畜市場があり、田畑の耕し方を牛に教える仕事がありました。

● 学び方 確かめよう! ●

三ツ松地区の牛神は、牛神祭りの2日ほど前に、近木川から運び上げられたどろで作られます。びわの葉で耳、柿の実で目、十八ササギで鼻を形作ります。



↑ 三ツ松地区の牛神

● 学び方 考えよう! ●

みずま水間鉄道に乗り、三ヶやまぐち山口駅で降り、永寿小学校の方に行くと、「三ツ松地区牛神」があります。ぜひ行ってみましょう。



『貝塚市の70年』より➡

人々のくらしを支えた牛 —牛神祭りと雨乞い—

西日本の農家では、1960年代頃まで、牛に農具を引かせて、田畑を耕してきました。これを役牛と言いました。1913年、貝塚市堀に「大阪貝塚の牛市場」として、全国的に有名になる「泉南常設家畜市場」が設けられました。貝塚の農家では、この市場で子牛を仕入れ、1年間、家族のように世話をしながら「土を耕す」ことを仕込み、たくましく育った牛を売って利益を得るという「役牛飼育」が広く行われていました。また、役牛より少ないものの乳牛も飼育されていました。そのため、農家の人たちにとって、牛は家族の一員とも言える存在でした。





牛神社の石碑^{せきひ} ↑

毎年、8月7日頃（昔の七夕）に、それぞれの地区で牛神祭りが行われています。牛を海や川に連れて行ってきれいに洗^{あら}って各地区の牛神にお参りし、牛の労をねぎらい、作物が豊かに実りますようにと、雨乞いのお祈り^{いの}をすることもありました。

三ツ松^{みつまつ}地区の牛神祭りでは「雨たんもれ、八大龍王^{はちだいりゅうおう}」と葛城山^{かつらぎさん}の雨の神さまにもお祈りをしています。石才^{いしざい}地区の牛神さまは、八大龍王さまの石碑^{せきひ}と並んで建っています。

今は、田畑^{すがた}で牛の姿を見ることはなくなりましたが、貝塚では、牛神祭りが各地区のいろいろなやり方で、続けられています。

● 学び方 深めよう！ ●

人々は牛神さまをお祀りして何を願ったのでしょうか。
一緒に暮らすペットとの違いや共通点や、私^{わたくし}たちと家畜との関係を考えてみましょうか。



地域^{ちいき}の人に聞いてみましょう。

● 学び方 ひろげてみよう！ ●

世界には牛と共に暮らす人が多く住む国もあるよ。どんな暮らしなのか調べてみましょう。



木積^{こづみ}（3地区）の牛神相撲^{すもう}
（子ども相撲）を見に行ってみましょう！

行^いつとQ!

知

っとQ?

「東洋の魔女」と呼ばれた日本代表女子バレーチームは社会にどんな影響を与えたでしょう。

● 学び方 確かめよう! ●

貝塚市では、バレーボールがどんな場所で行われていますか？
カルバーシティ市はどこにあるでしょうか。



インターネットや地図帳で調べてみましょう。



地域の人に聞いてみましょう。

● 学び方 考え合おう! ●

カルバーシティ市とはどんな交流をしているのでしょうか。



郷土資料室、貝塚市歴史展示館に話を聞きに行ってみましょう。



貝塚市のホームページや広報を見てみましょう。

親善試合の様子 ➡

「東洋の魔女」を生んだ 繊維産業

貝塚市ではバレーボールが盛んで、今も多くチームが活動しています。またバレーボールに関するイベントもたくさん行われています。なぜ、そのようになったのでしょうか？

1935年に大日本紡績株式会社貝塚工場が作られ、その他にもたくさんの繊維工場が建設されました。貝塚は大阪府下でも屈指の繊維工業の地として栄えました。

工場で働く女子従業員のレクリエーションとして、バレーボールが楽しめるようになり、1954年、大日本紡績に女子バレーボールチーム（日紡貝塚）がで



きました。最初のうちは、全国大会で8位に入るのがやっとの実力でしたが、^{もう}猛練習を重ねた結果、1955年に全国大会で^{ゆうしょう}初優勝を遂げました。その後、日紡貝塚の選手を中心とした日本代表チームが作られ、世界選手権でも大活躍をしました。

その強さからチームは「東洋の魔女」と呼ばれるようになり、1959年から1966年の間は負けることなく258連勝という大記録を打ち立てました。

アメリカのロサンゼルスで親善試合を行った際には、カルバーシティ市から^{しょうたい}招待を受け^{かんげい}歓迎されました。それをきっかけに、姉妹都市提携を結び、交流は^{げんざい}現在でも続いています。

1964年の東京オリンピックでも日紡貝塚を中心としたチームは大活躍し、ボール競技では日本初の金メダルを獲得しました。

その後、ユニチカバレーボールチームとして、多くの大会で好成績を残しましたが、工場の閉鎖にともない、2000年7月をもって活動を停止しました。

● 学び方 深めよう！ ●



オリンピックで女子チームが優勝したことが、当時の人々に与えた影響を考えてみましょう。



教科書で調べてみましょう。



↑ 1964年東京オリンピック金メダル

● 学び方 ひろげてみよう！ ●



最近のスポーツの話題と比べて話し合ってみましょう。
スポーツがきっかけで広がる交流について話し合ってみましょう。

貝塚市では、どんなスポーツのイベントがあるのでしょうか。実際に参加してみましょう。

行っとQ!

ール試合
塚



知

っとQ?

自然の侵食や人の活動によって海岸線は常に変化します。
貝塚の海辺の様子はどう変わったでしょう？

● 学び方 確かめよう！ ●

海辺が大きく変わったのはいつ頃でしょう。



資料室で調べてみましょう。

● 学び方 考え合おう！ ●

どうして広大な埋め立て地を作ったのでしょうか。



わかったことをまとめましょう。

こんなに変わった！ 海辺の様子

泉州地域の海岸線は昔から「白砂青松」と言われていました。貝塚市にも約4kmの砂浜が広がり、江戸時代からさかんに沿岸漁業が行われてきました。この地形を利用して、1960年代には、脇浜であさりや海苔の養殖も行われていました。

その頃の貝塚市の海岸線は、現在の府道臨海線あたりでした。今も当時の堤防が脇浜戎神社の近くに残っています。1978年、その海岸の沖に、約253ha（ヘクタール）の広さを持つ埋め立て地を作る工事が始まり、1989年に完成、二色パークタウンが、まちびらきしました。

貝塚市の約60%は丘陵・山地で、平地

↓ 海岸線の移りかわり





↑ 南大阪湾岸流域下水道中部水みらいセンター

は建物^{たてもの}が過密^{かみつ}の状態^{じょうたい}でした。当時は、住^{じゅう}宅^{たく}と工場^{こうじょう}がとなり合わせることも多く、騒音^{そうおん}や大気汚染^{たいきおせん}などの公害^{こうがい}が起きていました。そのため、工場^{こうじょう}を埋め立て地^{うつつ}に移すことで、公害^{こうがい}を減らし、暮らしやすい環境^{かんきょう}をめざしたのです。

また、工場^{こうじょう}や住宅^{たけ}から出る排水^{はいすい}で近木^{きんぎ}川^{がわ}や二色^{ふたいろ}の浜^{はま}の水質^{すいしつ}が非常に悪化^{ひじょう}したため、下水道^{せうぎ}の整備^{せいび}が急務^{きゅうむ}とされていました。当時^{たうじ}としては全国的^{ぜんこくてき}にも珍しい^{めづらしい}自然^{しぜん}環境^{かんきょう}に配慮^{はいりよ}された下水処理場^{しよりじょう}が建設^{けんせつ}され、大阪湾^{おおさかわん}の水質^{すいしつ}向上^{こうじょう}が図られました。



● 学び方 深めよう！ ●

どんな公害^{こうがい}があったのでしょうか。



● 学び方 ひろげてみよう！ ●

大阪湾^{おおさかわん}の水質^{すいしつ}はどのように変化^{へんか}したのでしょうか。

埋め立て地^{うつつ}にはどんな工場^{こうじょう}があるのか調べましょう。

行^いつとQ!

知

っとQ?

平安時代から日本中で使われたつげぐしを作る技術が、今も貝塚で大切にされています。

● 学び方 確かめよう! ●

つげぐしの由来について、いろいろな言い伝えが残っています。どんな内容なのかを調べて、読み比べをしてみましょう。



資料などを探して見てみましょう!

● 学び方 考えよう! ●

貝塚でつげぐしづくりが盛んになり、全国で知られるようになったのは、どうしてでしょうか。昔の地理や様子を調べて考えてみましょう。



貝塚市の地図を見て場所を確認しましょう。



↑ おすもうさんの髪を結うときに使われているのは、「つげぐし」です。

伝統工芸「つげぐし」は 1500年つづくブランド!

貝塚市のイメージキャラクター「つげさん」の名前の由来となったものが何かを知っていますか。実は貝塚の伝統工芸品である「つげぐし」がデザインのもとになっています。



↑ つげさん



↑ つげさん 「つげぐし」

貝塚の「つげぐし」は和泉櫛ともよばれ、1500年も続く製法を守り、品質が良いと全国で評判です。素材であるツゲの木は、プラスチックのくしに比べ、静電気を起こしにくいので髪を傷めません。また、使えば使うほど美しい光沢を増していきます。

「つげぐし」は、平安時代の頃から近木地区で作られていたことが記録に残っています。そして今も、この貝塚で作られ続けています。くしが出来上がるまでの仕事を、職人が分担し、地域全体で技術を伝えてきたのです。

しかし、現在では、その技術を継ぐ人が少なくなり、課題となっています。

材料になる原木は、^{かごしまけん}鹿児島県で栽培されているさつまづけを使います。自然のものです。くしに適した材料を選ぶのが難しいといわれています。

この作り方は、昔から現在でもほとんど変わることなく続けられています。

● 学び方 深めよう！ ●



職人さんの話では、原材料を選ぶのが難しいとか…。理由を考えてみましょう。

● 学び方 ひろげてみよう！ ●

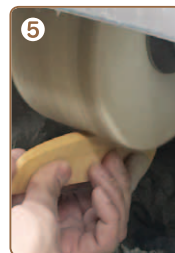


伝統工芸を支えてきた販売の方法や製造の仕組みを、調べてみましょう。

くつげくし作りの工程

- ① **ねかす** いぶしてからしめつけ自然乾燥で数年ねかせる。
- ② **歯引き** のこぎりで一本一本くしの歯になる切れ目を入れる。
- ③ **歯すり** 歯の先を削ったり磨いたりしながらとがらせ形を整える。
- ④ **成型** 歯が出来ると、外側の縁取りをして丸く型をとって、くし全体の形を整える。
- ⑤ **磨き** 最後に全体に磨きをかけ仕上げる。

ねかす 歯引き 歯すり 磨き



八品神社

澤地区の八品神社は、全国の製造や販売に関わる人たちの信仰を今も集め11月には櫛まつりがおこなわれます。

行っとQ!

知

っとQ?

貝塚市で作られたワイヤロープは、世界中で使われています！

● 学び方 確かめよう！ ●

貝塚市には、どんな工場が、どれぐらいあるのか調べてみましょう。



貝塚市ホームページなどで調べてみましょう。



二色産業団地

タオル、ベアリング、ワイヤロープ、食品など、さまざまなものを作る工場が集まっています。

● 学び方 考え合おう！ ●

貝塚でできたワイヤロープは、どのようにして作られているか調べてみましょう。



テザックワイヤロープのホームページで、ワイヤロープができるまでの工程を、調べてみましょう。

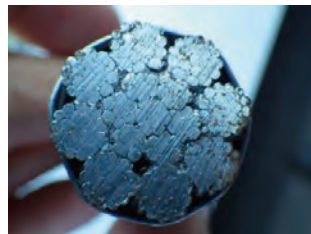
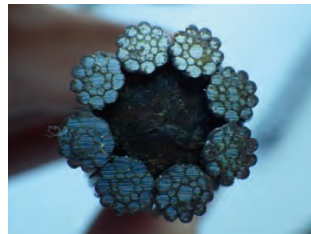
上：通常のエレベーター用ワイヤロープの断面図。直径12mmのワイヤロープ1本で6～7トンの重さを支えます。通常、エレベーター1基あたり、5～10本のワイヤロープが使われます。
下：あべのハルカスで使用されているエレベーターのワイヤロープ。

世界へはばたく 貝塚の工場

大阪府は、ワイヤロープの生産額が日本で一番多く、中でも貝塚市・泉佐野市に多くの工場が集まっています。

ワイヤロープは、エレベーターやクレーン、橋、ロープウェー、自動車、自転車など、いろいろなものに使われています。

貝塚市二色中町の産業団地には、テザックワイヤロープという工場があります。ここでもいろいろなワイヤロープを製造しています。エレベーター用は、日本のマンションやビルの50%以上で使用され、高さ300mのあべのハルカスをはじめ、世界一高いドバイのビルなど、世界中の建物に使われています。



他にも海底を深く掘って、巨大地震や津波発生の研究を行っている地球深部探査船「ちきゅう」に使われているワイヤロープも製作されました。



地球深部探査船「ちきゅう」(画像提供: 海洋研究開発機構) ↑

ワイヤロープの製造工程

① パテンティング

1000℃まで加熱して急冷し、線を強くする。

② 伸線

線を細く、強く、長くする

③ スランディング

より合わせて、ストランド(小縄)を作る。



④ クロージング

ストランドをより合わせる。

このような工程で、利用する人の安心・安全のため、よりよい品質のワイヤロープを作っています。また、より軽くて強いワイヤロープの開発も行っています。



● 学び方 深めよう! ●



どうして貝塚市では、ワイヤロープ作りがさかんになったのか、考えてみましょう。



昔、貝塚市ではどんな産業がさかんだったのかも、比べながら考えましょう。

● 学び方 ひろげてみよう! ●



見えないところにも、いろいろなワイヤが使われています。どんなところに使われているか、調べてみましょう。

貝塚市には、どんな工場がありますか? そこでは、何を作っていて、どこに出荷していますか?

行っとQ!